

山下てんせい

自由民主党神戸市議員団 市政報告 vol.17

山下てんせい

検索

市政に関するご意見はスマホカメラでQRコードを読み取っていただくと簡単です
メールフォームに直接つながります→



令和3年度は、政調会長として活動しております。会派内の調整や意見の取りまとめが主な役目です。この一年で場数を踏むことができ、会議の進行や意見の取りまとめといったスキルが向上しました。

各種懇談会

説明いただく議員と内容を調整し、当日は主に進行を務めます。



9月21日、10月5日、3月10日、3月24日
各種団体との意見交換会
業界団体からの要望事項について、自民党会派として意見交換をいたしました。



10月25日 建設労働組合連合会
建設労働業界からの要望事項を聞き取り意見交換をいたしました。



12月14日 市長への予算に対する要望活動
会派議員から、市への要望事項をとりまとめ、市長に直接お渡ししました。



1月7日 神戸市商工会議所
神戸市商工会議所にて、会派議員と商工会議所幹部との意見交換を行いました。

その他 ◆決算・予算の意見表明取りまとめ ◆勉強会の企画・実施
◆請願や陳情の対応 等に取り組みました

令和4年 予算特別委員会分科会より

山下てんせい議員は、第二分科会にて
危機管理室・消防局、健康局、水道局への質問をいたしました。

国民保護事案やサイバーテロ対策について

2月28日 危機管理室・消防局

山下 昨今、電車内での傷害事件や大阪市のビル放火事件など、物騒な事件が増えています。テロ等の国民保護事案は多数の市民の生命、身体に危機を及ぼすことから、被害を最小限に抑えるため、自然災害と同じく日頃からの備えが大切だと考えます。神戸市では今後、世界パラ陸上やワールドマスターズゲームズの開催が見込まれており、危機管理室として各大型イベントでの指揮命令系統の確認や関係部局との連絡体制など、ガバナンスの確立が重要と考えますが、見解をお伺いいたします。

福井危機管理室長 各大型イベントでの指揮命令系統の確認や関係部局との連絡体制などについては、対象事案が発生した場合に被害を最小限に抑え、適切な初動対応を行うために重要だと考える。そのため、イベント前に主催者に対し、内容や警備計画などの聞き取りを行い、指揮命令系統の確認や、有事の際の関係機関との連携体制について十分な確認を行っている。当日もその規模に応じて、危機管理室においても警戒態勢を敷くなどの対応を行っている。

要望 とりわけ今考えないといけないのはサイバーテロ対策です。現在、ロシアがウクライナを攻めています。ロシアの政府機関にハッカーがサイバー攻撃を仕掛けたようで、ホームページが見られなくなった、あるいは見せなくていいものを見せてしまう。そのような件に対しての想定、あるいはあまり想像したくないのですがバイオテロに対しての想定。ありとあらゆる国民保護事案に対して、国レベルでも対策をされていると思いますが、神戸市の足下のレベルでも、しっかり準備をしていただきたいと思います。

インターネットがある日突然使えなくなったら・・・これはフィクションではありません。現にこの質疑の翌日、トヨタ自動車がかいバー攻撃を受け、国内の全工場が稼働停止したとの報道がありました。



意見 現在、サイバー空間は目に見えない世界大戦状態と言えます。例えばインターネットが使えなくなったら、あるいは防災無線や携帯通信が途絶したら一体どうするのか。この課題について、神戸市は2年前の1月17日に、ラジオ電波による電子看板起動の実証実験を行っております。ラジオ関西が、T O Aと日立と組んで、A M放送の音声に信号を埋め込んで、地下施設のサイネージを起動させる、こういう取組を全国初で行われたと。残念ながらフルオートメーション化できず現在取組は中断しているということですが、こういった取組こそさらに進め、県・市協調で行うべきではないかということ、次年度に向けたものとして意見をさせていただきます。

当日は他にこのような質問をしました
危機管理室 「ドローンの有効活用について」
消防局 「防災福祉コミュニティの今後について」

山下 2月22日の毎日新聞記事にて「大阪市保健所で問題が噴出している。2万人を超える感染者の報告漏れが発生。対応を急ぐ余り、ルールを逸脱した民間への業務委託が進められたことを指摘され、松井市長、陳謝」という報道がなされました。

神戸市において、同業務を担うのは誰か、感染者数の報告漏れはないか、また、そのチェック方法は確立されているか、ロボティクスプロセスオートメーションの導入は検討されていますか。

※ロボティクスプロセスオートメーション→繰り返し単純作業をロボットが代行する技術のこと



樋口健康局担当部長 感染者数の把握は保健所保健課の職員が行っており、発生届の確認やコロナ患者管理システムへの入力には派遣職員と応援職員を活用することで、第6波に伴う感染者数の急増に対応している。発生届の入力に漏れないよう、提出された発生届は基本的にその日のうちに入力し、未入力の発生届がないかチェックしている。ロボティクスプロセスオートメーションについては、発生届の画像データを管理システムに格納するといったような業務が向いていると考えており、業務の効率化も積極的に検討していきたいと考えている。

山下 コロナパニックは当分続くと考えられますが、この間大量に雇用された保健師の処遇について、コロナ収束後どのような活躍の場を用意するかということを考えていただかないといけないと思いますがいかがでしょうか。

山崎健康局担当局長 保健師の業務については、コロナ以前から児童虐待や認知症対策、生活習慣病の重症化予防など、様々な法改正により増大している。さらに今回の新型コロナ感染症の感染拡大や行動自粛などにより、新たな生活様式及び生活習慣の長期にわたる制限や変更で、運動不足、ストレスの増大、医療機関の受診・検診控えによる心身への影響などはコロナ収束後も課題が増えていくと考えている。

今後、高齢者のフレイル増加が予測されるので、つどいの場での健康づくり、また、母子保健も通常の母子保健の施策以外にも、家庭訪問などきめ細やかな対応をして、関係機関とも連携しながら、児童虐待の予防をしっかりと強化していきたい。

また今後、新興感染症対策というのが必要になり、早期に迅速な健康危機管理対応ができるスキルが求められると思うので、まずは高齢者や障害者などの感染防止対策の決定が難しい施設などには、しっかりと重点的に巡回訪問などで助言をし、日本だけではなく外国の情報も含めて適時に正確な情報を発信するなど、集団発生を未然に防ぐため、さらに取組を強化していきたいと思う。

子育て中の保護者の方や、高齢者、障害を抱える



方々も、今後は精神的なストレスによる健康状態の悪化が増えてくるのではないかと思いますので、積極的に本人からの身体の相談対応だけでなく、メンタルヘルスの強化をしていきたいと思っています。保健師の体制強化により、コロナ以前の健康課題に加えて、アフターコロナによる影響に対しても、しっかりと対応していく。

保健師さんの活躍の場はどんどん広がっています。お体に気を付けて頑張ってください！

公営企業会計における動力費高騰の経営への影響について

山下 燃料費の高騰が全国的にも問題となっており、来年度の予算においても前年度比で10%近い伸びとなっています。コロナによる減収もあり、企業会計が苦しい立場に置かれていることは理解していますが、燃料費はまだまだ高騰が続くと考えられ、収支の悪化にもつながると危惧しています。そこで経営にどのような影響があるのか、またそれに対してどのような対策や経費削減の努力をされようとしているのか伺います。



山本水道局長 神戸市は非常に起伏に富んだ地形で、標高の高いところにある配水池へ水を送るために多くのポンプ場を保有している。他都市と比べて動力費がかかるゆえんであるが、このたびの原油あるいはLNGの燃料費高騰に伴い電気料金が値上げされ、動力費にも影響が実際に生じており、最大で2億8,000万円の収支悪化要因となる。この電気料金の変動に対する直接的な手当てではなく

当日は他にこのような質問をしました

- ・医療現場の事業継続計画について
- ・高齢者や高齢者施設へ、3回目のワクチン接種を推進する取り組みについて
- ・クリニックや個人病院からのモデルナワクチン供給要望への対応について
- ・保健師の負担軽減策について
- ・40歳総合検診受検率向上に向けた取り組みについて
- ・こうべ動物共生センターでの就労やリクルートについて

まずは経営改革の取組を着実に進めて、収支の改善に努めてまいります。

意見 燃料費の高騰に対してのバッファがないというのは、独立採算制を取っている水道、あるいは企業会計全てに関わることだが、何らかしだてをしていく必要があるのではないかという問題意識を私も持っています。これに関しては、水道局のみならず企業会計全体と捉えて、総括質疑のテーマとさせていただきます。

その後予算の要望事項に下記の内容を加えさせていただきました。

「公営企業会計において国際情勢等不測の事態による燃料費の高騰によって発生する費用の一部または全部を一般会計からの補填も含め手当てすること」

当日は他にこのような質問をしました

- ・水道事業の長期収支について
- ・悪徳事業者や過大広告への対応について
- ・過度な節水効果をうたう広告への対応について
- ・生活困窮者のサインについての福祉との連携について
- ・DXの推進について